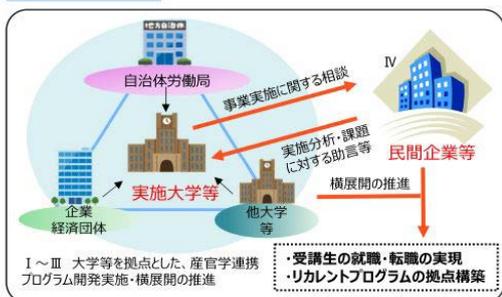


TOPICS

1

文部科学省令和3年度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に採択

事業イメージ



本学が企画・構想している「デジタルヘルス人材育成プログラム」が、文部科学省令和3年度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」における「DX分野等リスキルプログラムの開発・実施」の枠組みで採択されました。本事業は、就業者・失業者・非正規雇用労働者等に対し、デジタル、グリーン、イノベーション喚起等の成長分野を中心に就職・転職といったキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた社会のニーズに合ったプログラムを実施するものです。

本学のデジタルヘルス人材育成プログラムの目的は、ITとヘルスケアの両方についての知見を併せ持ち、国内外の成長分野であるデジタルヘルス産業における新規事業開発／起業、さらには医療機関・介護施設等での業務のDX化を図れる「デジタルヘルス人材」を育成することです。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11323.html



TOPICS

2

「スマート農業」を超えた「ダイバーシティ農業」へ！ 「ダイバーシティ農業でおかやまを活性化する車座評議会」キックオフミーティングを開催

6月21日、「ダイバーシティ農業でおかやまを活性化する車座評議会」を設立し、キックオフミーティングを津島キャンパスで開催しました。評議会は、誰もがやりがいを持ちながら農業に取り組める「ダイバーシティ農業」を実現し、地域を活性化することを目的として設立。本学のほか、岡山県内の自治体、農業団体及び関係企業等27団体が参画しています。キックオフミーティングは、会場と各地をオンラインで結んで開催し、25団体から44人が参加しました。

開会にあたり、那須保友理事（研究担当）・副学長が「『ダイバーシティ農業』の実現に向け、忌憚のないご意見をいただきたい」とあいさつしました。評議会会長である林靖彦研究・産学共創担当副理事は、「『ダイバーシティ農業』は『スマート農業』の良い部分を取り入れつつ、DXによって農業従事者のスキルを向上させ、やりがいをもたせることで、最適な技術とウェルビーイング双方を追究するもの。果樹以外の農業や関連する産業にも波及させ、農業を起点とした地域社会の発展を目指したい」と話しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11352.html



Pick up!

CLS第一期生のデイビッド・アンダーソンさんの旅立ちを祝い、榎野学長と対談

米務省重要言語奨学金 (CLS) プログラムの第一期生であり、社会文化科学研究科の研究生として学ぶデイビッド・アンダーソンさんが、この度ハーバード大学に進学することになりました。アンダーソンさんは、CLSプログラムの第一期生として、2019年6月に本学に来学。その後、アメリカ・フルブライト奨学金を獲得し、2021年7月から、地域総合研究センターの岩淵泰准教授のもとで、岡山のまちづくりについて学びました。

対談で、アンダーソンさんは、SDGsに貢献する持続可能なまちづくりや多様な歴史を紹介。「岡山には山、海、街など日本を代表する景観があり、その中で地域の人々と交流することで、『本当の日本』を発見できた」と岡山への愛を語りました。榎野学長は「アンダーソンさんは、感性が豊かで、岡山に住んでいる人も気づけていない魅力を再発見してくれた。日米の懸け橋として、是非また岡山を訪れてほしい」と応えました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11338.html



TOPICS

3

第17回情報危機管理コンテスト 「文部科学大臣賞」受賞を学長に報告

5月28日に第17回情報危機管理コンテストで「文部科学大臣賞」を受賞した、自然科学研究科博士前期課程の芝 海人さん、戎 恒司さん、工学部情報系学科の佐治 和馬さん、Kang Jeukさんが、指導教員の学術研究院自然科学学域 山内 利宏教授および菅 誠治工学部長とともに、6月30日に槇野博史学長を表敬訪問し、受賞の報告をしました。

受賞者からは、決勝戦ではリアルタイムで行われるサーバーへの攻撃に対し、リアルタイムでインシデント対応を繰り返し行ったこと、速さと正確さだけでなく対応力も審査の対象となることなど説明がありました。山内教授からは、研究室の先輩から引き継いだノウハウを後輩たちが共有し、コンテストで優秀な成績を残せたこと、受賞者全員が文部科学省の教育プログラム「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT2)」(enPiT2-Security、Basic SecCapコース)の修了者であることなど併せて説明がありました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11336.html



TOPICS

4

アフィア・ボニーさんが、Your Caribbean Story Competitionで ベストプロジェクトに選ばれました



環境生命科学研究科博士前期課程1年のアフィア・ボニーさんが、「機械学習によるトリニダード・トバゴの降雨量予測」に関する研究において、Your Caribbean Story Competition のBest Story Map部門のベストプロジェクトに選ばれました。

地図の情報を活用する専門家が集まり、世界レベルで取り組むべき課題を解決するための知恵を出し合うために、国連が発足させた機関であるGGIMのカリブ海地域における学生コンテスト部門での最優秀賞です。

アフィア・ボニーさんは「今回受賞できたこと、またこの分野の専門家の方々と一緒に仕事をする機会を得られたことを大変嬉しく思います。担当教員である西山先生には心強いサポートをいただき、感謝しています。皆さんにも是非、自分の技術や知識を高め、地域や世界に挑戦する機会を見つけてもらいたいと思っています」とコメントしています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11324.html

PRESS
RELEASE

魚油や亜麻仁油に含まれるオメガ3系多価不飽和脂肪酸の エイコサペンタエン酸が痛みに関与する分子メカニズムを解明

自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門、大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)膜輸送分子生物学分野の宮地孝明研究教授、加藤百合特任助教(現：九州大学薬学研究院助教)、原田結加特任助教、東京農業大学 応用生物科学部 岩槻健教授らの研究グループは、魚油や亜麻仁油などに含まれるオメガ3系多価不飽和脂肪酸のエイコサペンタエン酸(EPA)が小胞型ヌクレオチドトランスポーター(VNUT)を阻害することで、神経障害性や炎症性疼痛を予防・改善できることをモデル動物で見出しました。本研究により、必須栄養素のEPAが慢性疼痛を予防・改善する分子メカニズムを解明できました。本研究成果は、日本時間2022年7月19日に米国アカデミー紀要「*Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*」に掲載されました。今後、神経障害性や炎症性疼痛を予防・治療できる医薬品や健康食品の開発が期待されます。EPAは医薬品として利用されていますので、適応拡大(ドラッグリポジショニング)に向けた臨床試験への展開なども期待できます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id985.html



宮地研究教授

